



総合戦略

I - 基本的事項

1. 総合戦略の策定

国 においては、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、デジタルの力で地方の社会課題を解決し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す構想として、官民双方で地方におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の積極的な推進を図るため、従来の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、令和4年（2022）12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定した。

▶ 地方においては、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョ

ンをリ・デザイン（再構築）し、地方版総合戦略において具体的な取組を推進することが求められている。

▶ そのため、本町においても、これまでの総合戦略の方針を踏襲しつつ、デジタル田園都市国家構想に掲げられている方針等を取り込み、多様な分野においてデジタル技術を活用しながら、人口減少対策や魅力向上の取組を加速化・深化させ、総合計画と一体となって地方創生を推進していくための計画として、「福智町デジタル田園都市構想総合戦略」を策定する。

2. 計画期間

令 和7年度（2025）から令和11年度（2029）までの5年間

1 政策目標の設定

政 策分野ごとに講ずべき施策の基本方向と具体的な施策を示し、各施策の効果を客観的に検

証する指標である「重要業績評価指標（KPI）*」を設定することで、効果的な取組の推進につなげる。

* 重要業績評価指標（KPI）：「Key Performance Indicator」の略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のこと。

2 政策の効果検証

総 合戦略の取組を推進するにあたっては、地域の課題に基づく適切な政策目標を設定のうえ、根拠（エビデンス）に基づく施策の企画立案とその着実な実施を行うとともに、設定した政策目標を基に実施した施策の効果を検証し、必要に応じて改善を図るという一連のプロセス「PDCAサイクル」の確立が求められる。

▶ 効果検証を行うにあたっては、KPIの進捗状況を確認するとともに、委員会を設置するなど定期的・多角的な評価・検証を行い、その結果を総合戦略に反映するなどして、持続性のあるPDCAサイクルの運用を図る。

